期待の先をカタチに

transformation

2027年3月期 第2四半期（中間期）決算説明会

2026年11月25日

能美防災株式会社 NOHMI

期待の先をカタチに

transformation

1. 2027年3月期 第2四半期（中間期）連結決算概要

受注高は6年連続で第2四半期の過去最高を更新

中東情勢によるサプライチェーンへの影響や資材価格の動向に注視が必要だが、
防災業界の市場環境は引き続き堅調に推移
前期にグループ入りした明星電気の大型案件受注も寄与

売上高は3年連続で過去最高

高水準の受注残高を背景に、施工能力等の制約がある中においても
工事が順調に進捗し、売上高は過去最高を更新
特に消火設備セグメントが業績を牽引

利益率が改善し、利益も期初予想を上回る進捗

追加受注の促進等により当期に完工した大型物件の採算性が向上
価格改定や業務効率化の取組みも奏功し、売上原価率は良化
2020年3月期以来、7年ぶりに第2四半期として最高益を達成

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

2027年3月期 第2四半期（中間期）連結業績

（百万円）

	2026/3 2Q	2027/3 2Q		前期比		予想比	
	実績	期初予想	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	57,020	64,200	**69,362**	+12,342	+21.6%	+5,162	+8.0%
売上原価率	67.6%	65.4%	**63.8%**	△3.8pt	—	△1.6pt	—
売上総利益	18,488	22,200	**25,133**	+6,645	+35.9%	+2,933	+13.2%
販管費	15,611	18,710	**18,136**	+2,524	+16.2%	△573	△3.1%
営業利益	2,877	3,490	**6,997**	+4,120	+143.2%	+3,507	+100.5%
売上高営業利益率	5.0%	5.4%	**10.1%**	+5.1pt	—	+4.7pt	—
経常利益	3,265	3,930	**7,543**	+4,278	+131.0%	+3,613	+92.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	2,102	2,400	**4,862**	+2,759	+131.3%	+2,462	+102.6%
EPS（円）	35.72	40.77	**82.60**				
受注高	86,064	82,200	**103,771**	+17,706	+20.6%	+21,571	+26.2%
受注残高	99,010	109,474	**125,882**	+26,871	+27.1%	+16,408	+15.0%

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

セグメント別売上高・利益

（百万円）

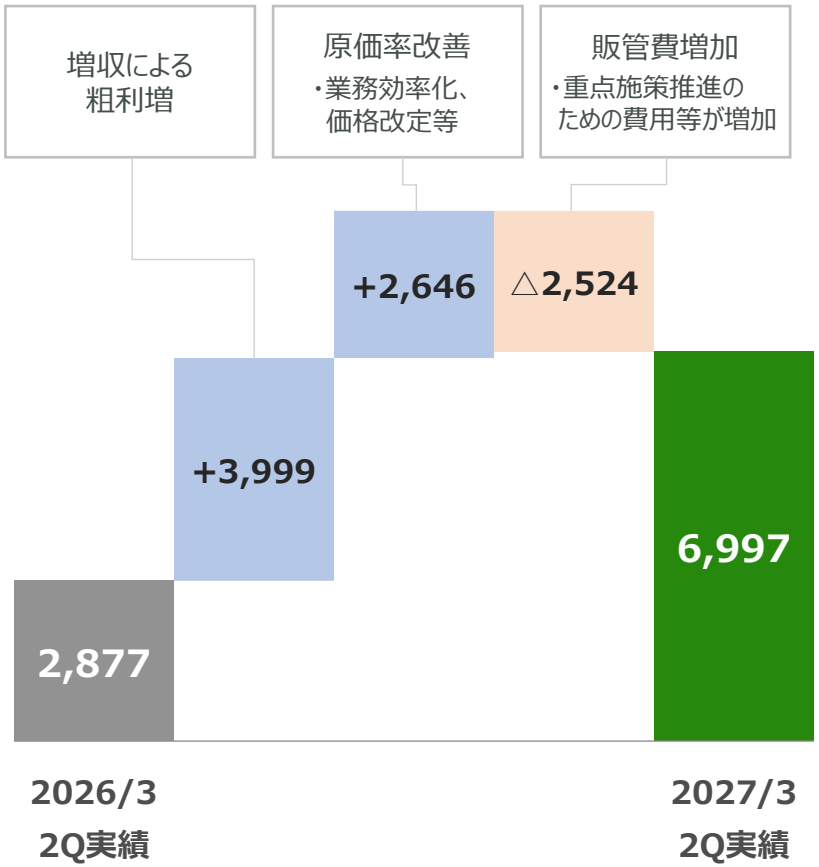
		2026/3 2Q	2027/3 2Q	前期比	
		実績	実績	増減額	増減率
火災報知設備	売上高	21,141	**22,467**	**+1,325**	+6.3%
	セグメント利益	2,450	**2,991**	**+540**	+22.1%
	(利益率)	(11.6%)	(13.3%)	**(+1.7pt)**	—
消火設備	売上高	18,882	**24,192**	**+5,310**	+28.1%
	セグメント利益	2,991	**6,396**	**+3,404**	+113.8%
	(利益率)	(15.8%)	(26.4%)	**(+10.6pt)**	—
保守点検等	売上高	14,789	**16,618**	**+1,828**	+12.4%
	セグメント利益	2,249	**2,569**	**+319**	+14.2%
	(利益率)	(15.2%)	(15.5%)	**(+0.3pt)**	—
その他	売上高	2,378	**6,340**	**+3,961**	+166.5%
	セグメント利益	133	**491**	**+357**	+267.1%
	(利益率)	(5.6%)	(7.7%)	**(+2.1pt)**	—
消去または全社	売上高	△172	△256	**△83**	—
	セグメント利益	△4,948	△5,450	**△501**	—
連結	売上高	57,020	**69,362**	**+12,342**	+21.6%
	営業利益	2,877	**6,997**	**+4,120**	+143.2%

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

営業利益増減分析

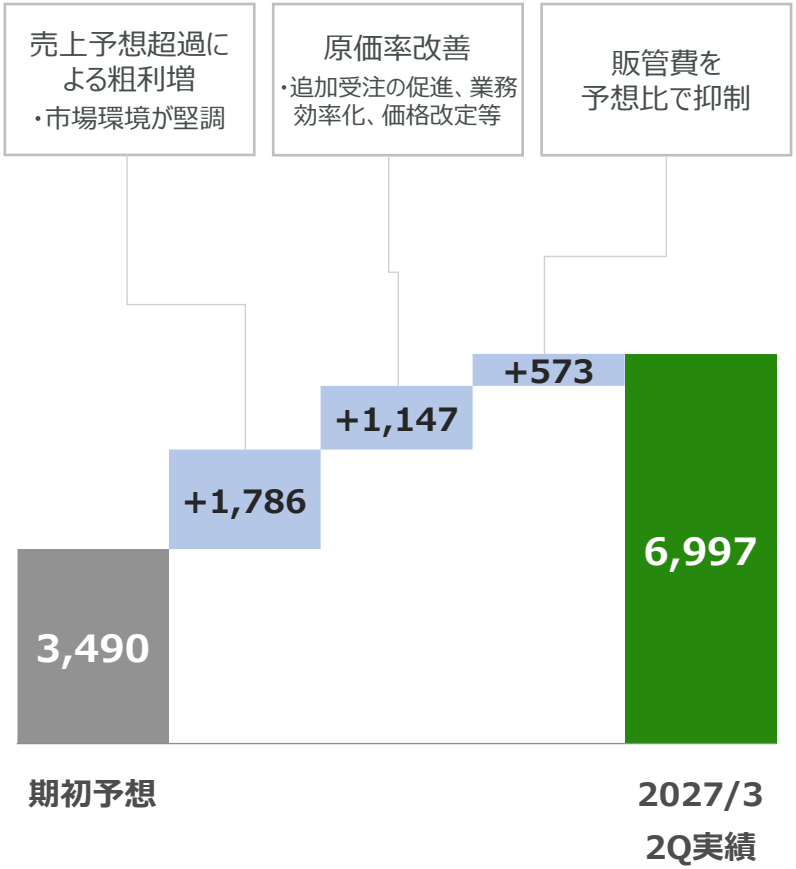
対前期比

（百万円）



対予想比

（百万円）

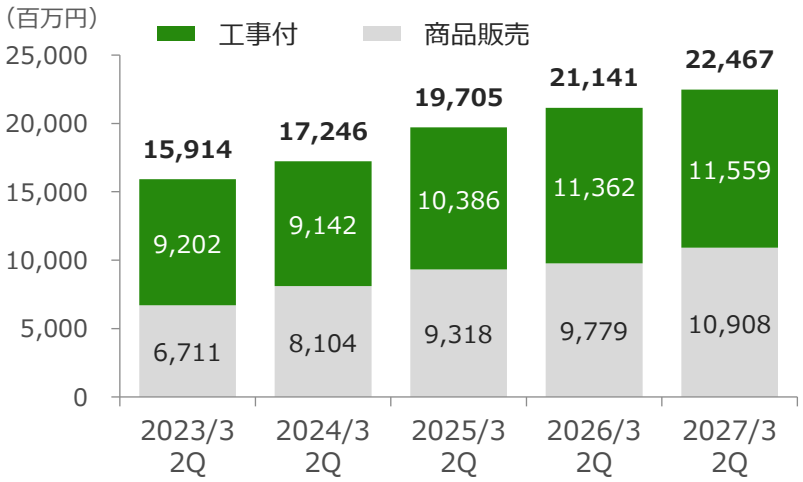


©2026 NOHMI BOSAI LTD.

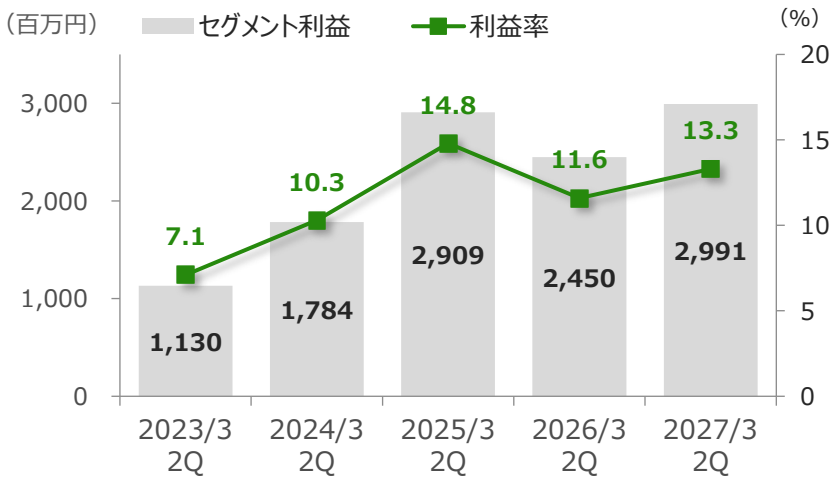
セグメント別情報

火災報知設備 | 消火設備 | 保守点検等

売上高（消去前）



セグメント利益／利益率



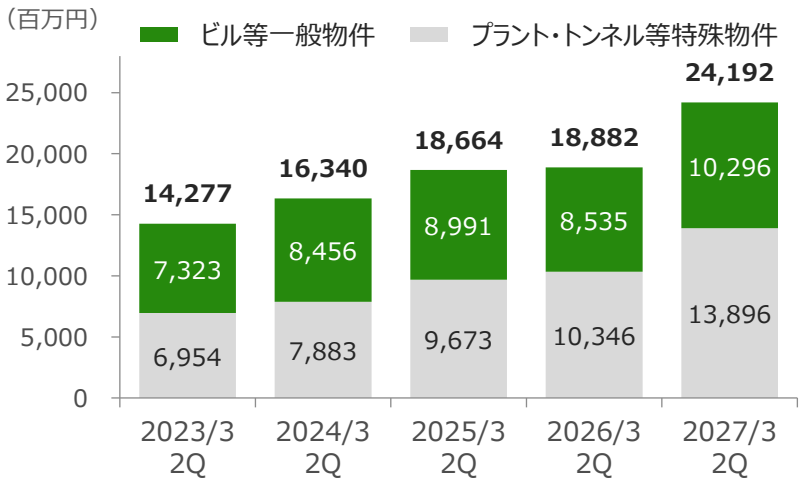
（百万円）	2026/3 2Q実績	2027/3 2Q実績	前期比（%）
受注高	**28,497**	**29,482**	**+3.5**
受注残高	**25,043**	**26,725**	**+6.7**
売上高	**21,141**	**22,467**	**+6.3**
工事付	11,362	11,559	+1.7
商品販売	9,779	10,908	+11.5
セグメント利益	**2,450**	**2,991**	**+22.1**

- 市場環境は依然として堅調で、前年に続き、受注高、受注残高、売上高は第2四半期として過去最高を更新。
- 懸念されたコスト上昇に対しては、計画的な価格改定や業務効率化の取組みが奏功し、増益基調を維持。

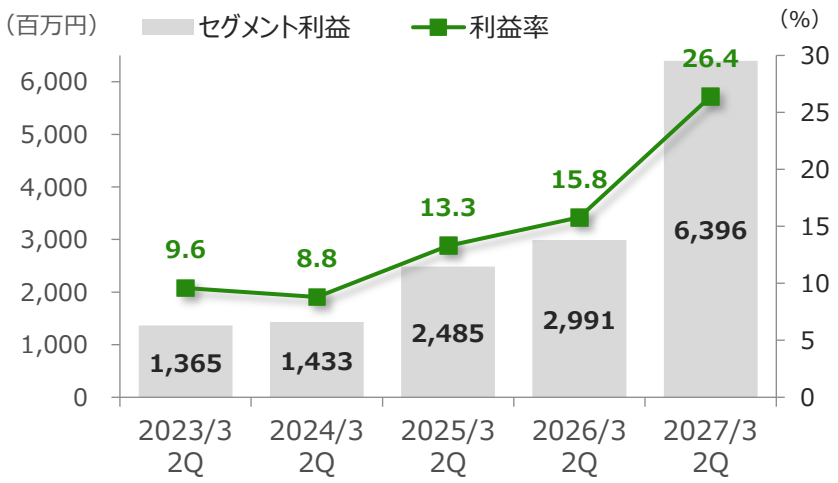
©2026 NOHMI BOSAI LTD.

セグメント別情報

売上高（消去前）



セグメント利益／利益率

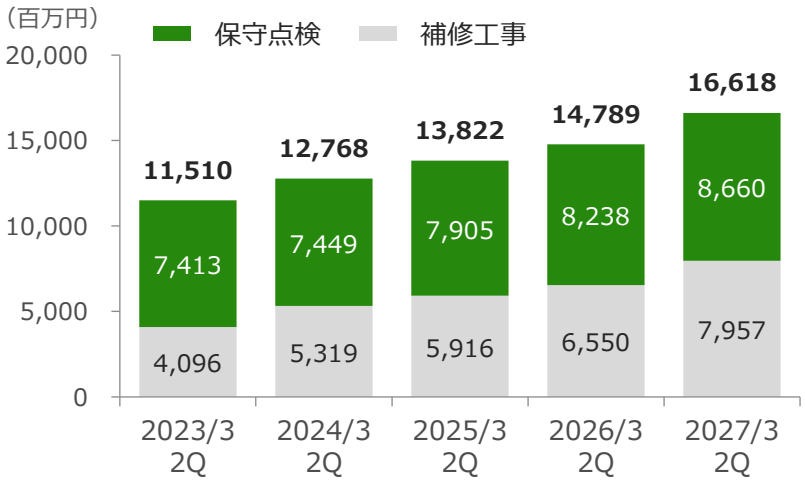


（百万円）	2026/3 2Q実績	2027/3 2Q実績	前期比（%）
受注高	**30,741**	**36,955**	**+20.2**
受注残高	**55,503**	**65,801**	**+18.6**
売上高	**18,882**	**24,192**	**+28.1**
一般物件	8,535	10,296	+20.6
特殊物件	10,346	13,896	+34.3
セグメント利益	**2,991**	**6,396**	**+113.8**

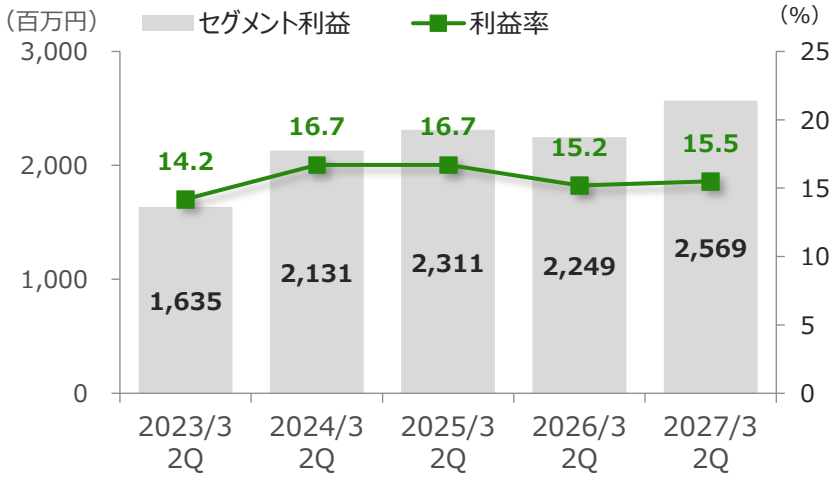
- 市場環境は引き続き堅調で、特殊物件を中心に需要が高水準で推移し、受注高、受注残高、売上高はいずれも過去最高を更新。
- 追加受注の促進等により大型物件の採算性が向上したことから、営業利益は過去最高を大幅に更新。

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

売上高（消去前）



セグメント利益／利益率



（百万円）	2026/3 2Q実績	2027/3 2Q実績	前期比（%）
受注高	**24,334**	**27,946**	**+14.8**
受注残高	**16,883**	**19,611**	**+16.2**
売上高	**14,789**	**16,618**	**+12.4**
保守点検	8,238	8,660	+5.1
補修工事	6,550	7,957	+21.5
セグメント利益	**2,249**	**2,569**	**+14.2**

- 市場環境は全般的に堅調に推移するなか、保守点検の受注は順調に拡大。
- 補修工事を中心に売上高は順調に伸長し、受注高、受注残高、売上高はいずれも４年連続で第2四半期として過去最高を更新。
- 積極的に人員増強を図りながらも、利益率を改善し、増益。

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

期待の先をカタチに

transformation

2. 能美防災グループ 中長期ビジョン2028
ステージⅢ（2026年3月期～2029年3月期）

中長期ビジョン2028について

中長期ビジョン2028

2020年3月期
～2022年3月期
ステージⅠ

2023年3月期
～2025年3月期
ステージⅡ
前中期経営計画

2026年3月期
～2029年3月期
ステージⅢ
新中期経営計画

••••

2028年度のありたい姿
の実現に向けた総仕上げ

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

能美防災が対処すべき社会課題の領域

	国内建設市場の成熟化	人口動態の変化 高齢化・労働力不足	社会インフラの維持	建設分野における DX化の進展	海外における 防災ニーズ拡大	自然災害の激甚化 環境問題の深刻化
社会動向、変化・課題	消防設備の更新需要 防災性能の向上 省エネ・環境対応型設備 DXによる点検・保守効率化	高齢者に対応した設備 地域防災力の強化 自動化・遠隔監視技術の導入 技能継承と人財育成	老朽化設備への対応 災害リスクへの対応力強化 維持管理方法の見直し 地域コミュニティと連携した防災力向上	建設プロセスのデジタル連携 消防設備のスマート化 工事・点検業務の省力化 データ活用による効率化	国際規格への対応 グローバル展開の人財育成 製品の現地化とコスト競争力 防災意識の啓発と市場開拓	気候変動適応インフラ整備 環境配慮型設備の普及 地域防災力の強化 災害リスクの可視化と管理
主なSDGs該当項目	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 12 つくる責任 つかう責任	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 11 住み続けられるまちづくりを	5 ジェンダー平等を実現しよう 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 11 住み続けられるまちづくりを	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任	1 貧困をなくそう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう

ありたい社会像

大切な命や財産・環境を守り、誰もが笑顔で暮らせる社会を実現する

自社のありたい姿

既存事業領域を中心に独自防災システムを提供	お客様の課題を起点に最適防災ソリューションを提供	防災監視のあらゆるシーンでお客様の課題解決を支援	高齢化・人手不足に対応した施工・メンテナンス体制確立	総合防災メーカーとして災害全般へ事業領域拡大

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

中長期ビジョンステートメント＜2022年5月公表＞

＜中長期ビジョンステートメント＞

期待の先をカタチに
transformation

「**期待の先**」にある安全を「**カタチ**」にし、誰もが笑顔で暮らせる社会を実現する

自社のありたい姿

1
既存事業領域を中心に独自防災システムを提供

2
お客様の課題を起点に最適防災ソリューションを提供

3
防災監視のあらゆるシーンでお客様の課題解決を支援

4
高齢化・人手不足に対応した施工・メンテナンス体制確立

5
総合防災メーカーとして災害全般へ事業領域拡大

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

中長期ビジョンステートメント実現に向けて

「**期待の先**」にある安全を「**カタチ**」にするために

人財・組織の知向上

飛躍的成長への人事戦略



個人と会社の成長サイクルを加速させ、
飛躍的成長を実現する

お客様との共創

未来共創プロジェクト



お客様への提案のカタチを変革し
提供価値を向上させる

成長への投資

未来投資計画



未来に向けた研究開発・M&A・設備・
人財・環境投資を計画

デジタルトランスフォーメーション（DX）

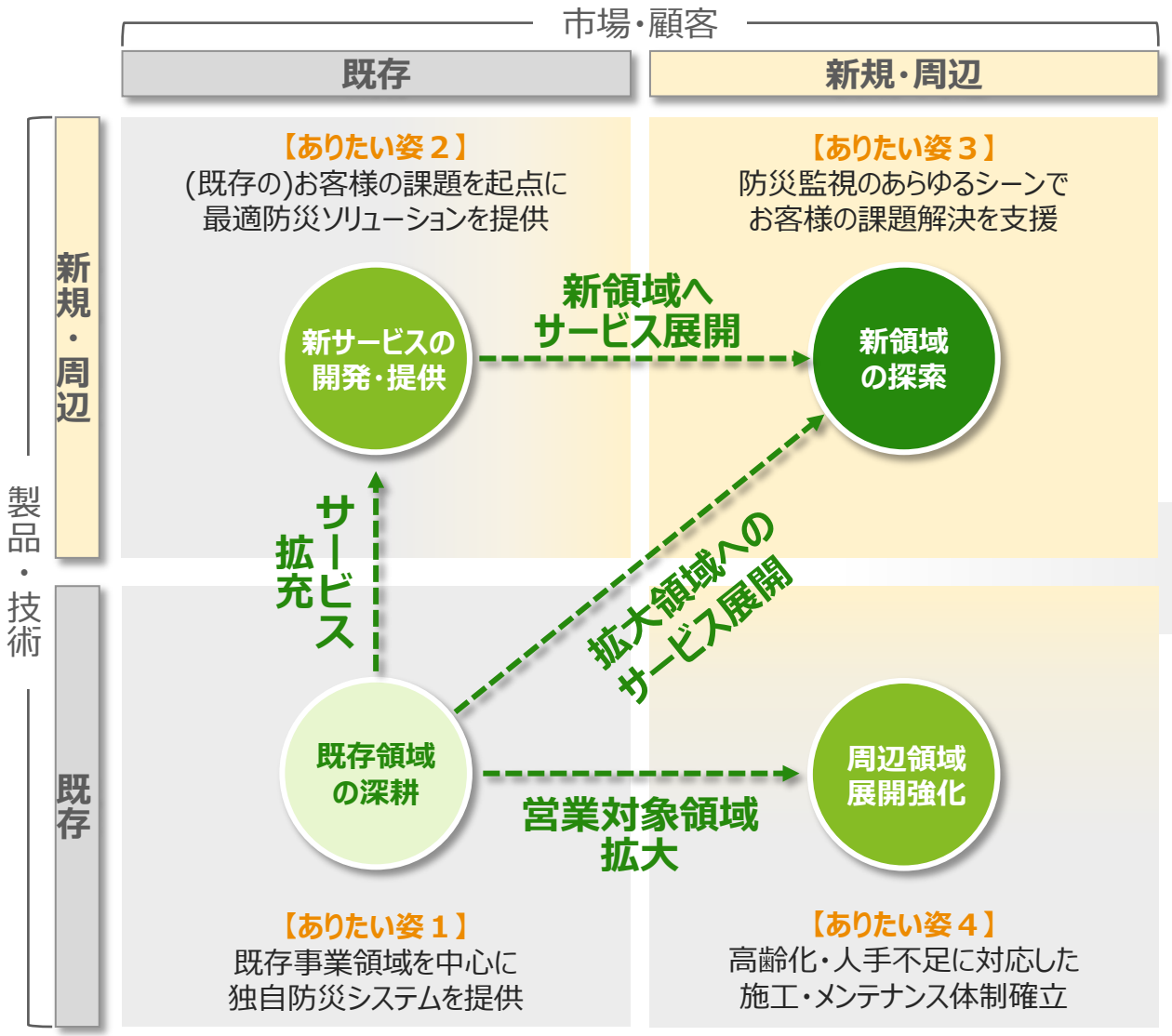
安定した製品・サービス供給体制をより強固にするサプライチェーンの実現

サステナビリティ経営推進による企業価値向上を前提とした課題対応

より高い付加価値を創造できる企業への変革

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

事業戦略の基本的な方向性とありたい姿の関係性



ありたい姿５

総合防災メーカーとして災害全般へ事業領域拡大

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

ステージⅢ　2029年3月期の業績ターゲット

ステージⅢの１年目は３項目で目標値を達成。重点施策を着実に推進し、2029年3月期の業績ターゲット達成を目指す。

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	ステージⅢ 2029年3月期 目標
売上高	1,336億円	1,396億円	1,700億円以上
営業利益率	11.7%	13.1%	12.0%以上
ROE	8.8%	10.2%	10.0%以上
配当性向	40.5%	50.0%	50.0%

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

ステージⅢ　戦略の方向性

重点施策 1

- 人財採用・育成・配置の強化徹底の継続
- DX実現に向けた取組みの加速

→ 既存事業の収益拡大と利益率の向上

重点施策 2

- 防災周辺領域や隣接業界へのM&Aの積極的な展開

→ 事業の拡大

重点施策 3

- 未来共創プロジェクト活動等への注力

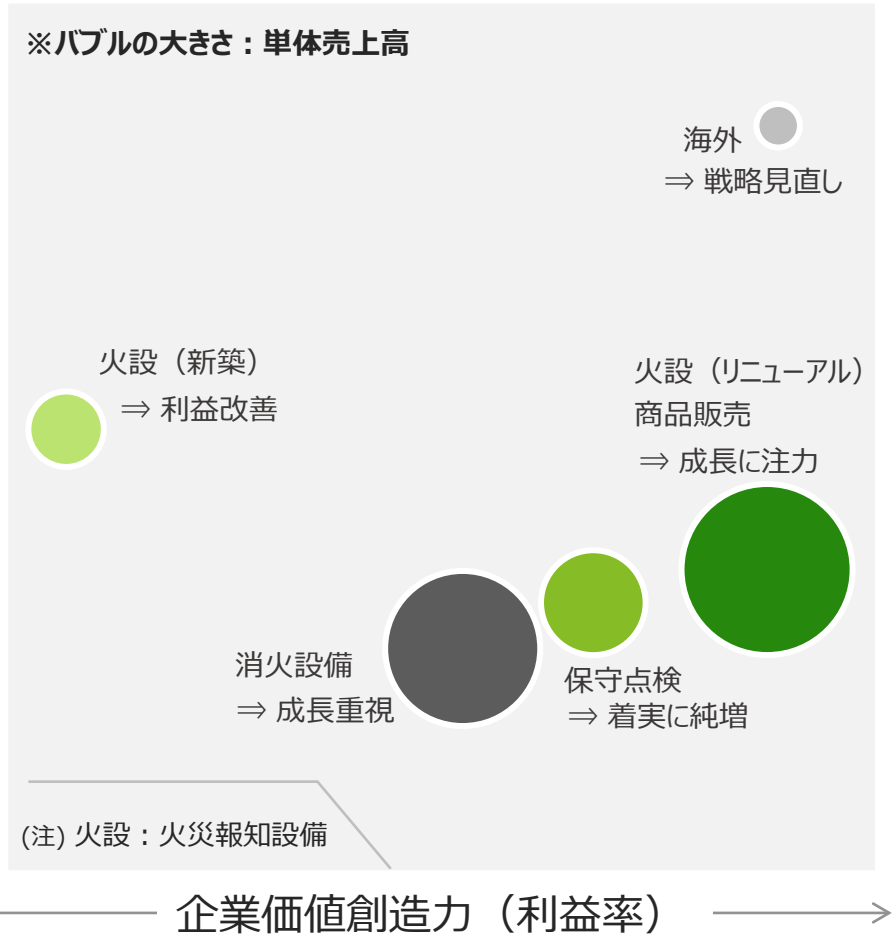
→ 新規事業創出ならびにスケール化

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

【重点施策１】事業ポートフォリオの現状と人財配置の見直し等による今後の方向性

既存事業においてはリソースを積極増強**して利益率の高い事業へ積極投入**

全体的に人的リソースを増強、従業員数はM&A効果もあり、前年比376名増



火設（リニューアル）、商品販売

- ✓ **リソースの積極投入**による成長

保守点検

- ✓ **新規案件の着実な積み上げ**による純増

消火設備（ビル、プラント、トンネル等）

- ✓ **リソースの積極投入**と機器売り拡大による成長

火設（新築）

- ✓ 価格改定と受注可否判断による採算性の改善

海外

- ✓ 成長へ向けた戦略の見直し

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

【重点施策１】飛躍的成長に向けた人的資本経営

「**期待の先**」にある安全を「**カタチ**」にするために

飛躍的成長への人事戦略
「自律と挑戦」「社員総活躍」「活躍・成長基盤の整備」

働き方

戦略の方向性	評価指標	実績
ワークライフバランスのさらなる促進	□ 有給休暇取得率：75%以上	[FY24 ➡25] 70.7% ➡74.1%
	□ 男性育休取得率：60%以上	29.6% ➡53.7%

異動配置

戦略の方向性	評価指標	実績
個人のキャリア志向を大切に、戦略的な異動配置の実現 ▲ 人財ポートフォリオの設定	□ 成長機会スコア：3.8以上 *3	[FY24 ➡25] 3.5 ➡3.5

採用

戦略の方向性	評価指標	実績
事業戦略の実現に向けて必要な人財の獲得に注力 (施工、メンテナンス人財等)	□ 能美防災：400名増 *1	[FY24 ➡25] 97名増 ➡116名増
	□ グループ会社：100名増 *1	56名増 ➡357名増
	□ 一人当たり売上高：5%増 *2	5.5%増 ➡5.0%増

育成

戦略の方向性	評価指標	実績
早期戦力化に向けた人財育成体制の構築	□ スキル(専門)教育カリキュラム数：50%増 *4 (2024年度比)	[FY24比] 12%増

人事制度

戦略の方向性	評価指標	実績
働きがいがあり、働きやすい職場環境を構築	□ 2026年度までに施策実行	[FY24 ➡25]
	□ 働き方スコア：4.0以上 *3	3.7 ➡3.8
	□ 評価スコア：3.5以上*3	3.2 ➡3.3

DE&I

戦略の方向性	評価指標	実績
多様な能力・価値観を持つ人財が活躍・成長する機会を創出	□ 女性社員上級職：30名以上	[FY24 ➡25] 15名 ➡15名
	□ 障がい者雇用率：法定雇用率以上	2.37% ➡2.48%

*1：2025～2028年度累計（臨時・嘱託含む）　*2：2019～2023年度平均比
*3：従業員エンゲージメントスコアの構成要素（働き方、評価の納得感、成長機会に関する従業員サーベイ結果を基に測定）
*4：カリキュラムごとの実施日数に基づき算定

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

【重点施策１】デジタルトランスフォーメーション（DX）実現に向けて

「能美DXビジョン2030」を策定し、全社横断でDX推進を加速

2027年3月期は、①生成AI活用拡大 ②デジタルリテラシー向上
③業務のデジタル化拡大を推進、業務変革を通じて競争力の強化につなげる

主な進捗

- DXビジョン策定
- DXステートメント・DX戦略公表
- DX推進体制構築
- DX認定取得
- 生成AI活用・業務デジタル化推進

DX推進基盤を確立
→実行フェーズへ移行

現在地
（2027年3月期）

Step3：顧客起点での新たな価値創出

顧客ニーズを起点とした既存サービスの高度化や、新たなサービス開発が定常化した状態

- 顧客ニーズを起点とした提供サービスの検討を組織横断で実施する
- 組織横断の連携により、シナジーを発揮できる環境を整備する

Step2：既存業務の変革による供給力の強化

組織横断で既存業務の変革に取り組み、コア業務の生産性が向上している状態

- AIをはじめとしたデジタル技術を活用した変革に自分事として取り組み、業務の生産性向上に貢献する
- ノンコア業務を最小化し、コア業務に集中できる業務環境を構築する

Step1：組織とデータの整備

組織としてのDXスキル向上と、社内情報のデータ化を推進し、DXの土台が固まった状態

- 業務情報をデータ化し、組織横断での情報連携に貢献する
- 情報を活用できる環境と、それを担う人材・組織を確立する

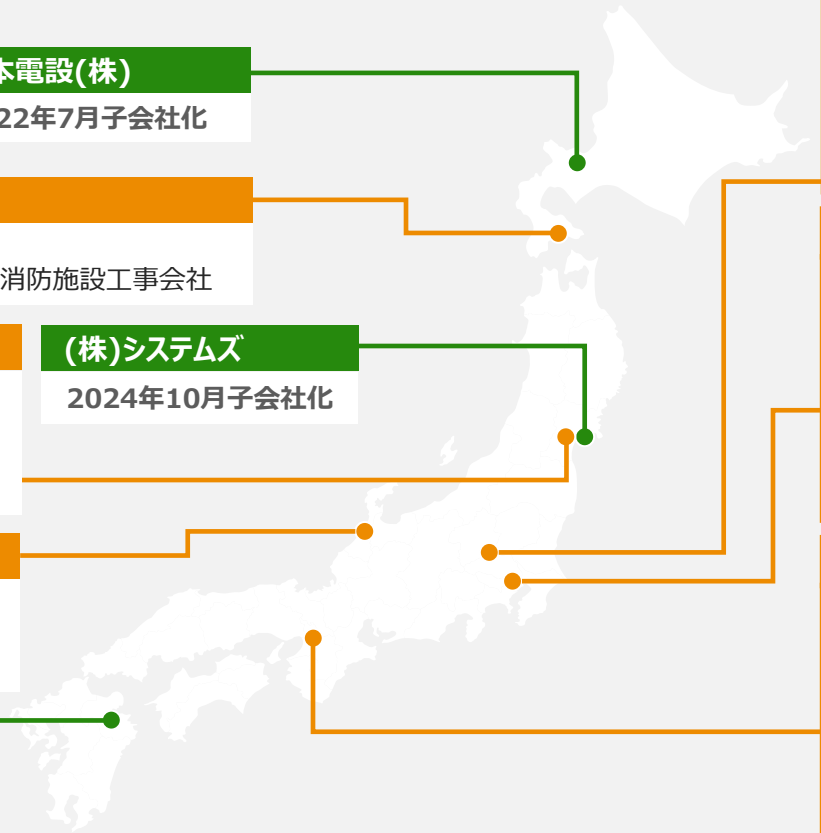
©2026 NOHMI BOSAI LTD.

【重点施策２】中長期ビジョン2028における積極的なM&A

M&A・PMI推進体制の強化を背景に、戦略的M&Aを継続して実施
➡ M&Aを通じた事業領域拡大と競争力強化を推進

・中長期ビジョン開始以降、累計9件のM&Aを実施

ステージⅡで実施
ステージⅢで実施



坂本電設(株)
2022年7月子会社化

北興通信(株)
2025年7月子会社化
- 48年の歴史と実績を持つ電気通信・消防施設工事会社

プライムバリュー(株)
2025年9月子会社化
- 自治体向けに災害対応を支援するクラウド型の業務支援システム「B-order」を展開

(株)システムズ
2024年10月子会社化

(株)セフト
2025年9月子会社化
- 創業39年の地域に深いつながりを持つ消防設備点検会社

日昭設備工業(株)[現：大分ノーミ(株)]
2022年4月子会社化

明星電気(株)
2026年2月子会社化
- 気象防災および宇宙防衛に関する機器の製造、販売およびサービスの提供を展開

【シナジー創出事例】
- インド気象局向け大型案件（約48億円）を受注

(株)アスケイド
2026年7月子会社化
- システム構築、プロトタイプ開発およびソフトウェア技術開発に関するコンサルテーションを展開

【期待効果】
- IT・IoT分野における開発基盤の強化
- 防災・センシング技術とデジタル技術を掛け合わせた新たなソリューション創出

(株)ビジョンセンシング
2026年11月子会社化
- 赤外線カメラの開発・製造、画像処理技術開発、コンサルティングを展開

【期待効果】
- 赤外線技術の高度化
- 次世代の防火システム開発の推進

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

【重点施策３】新規事業創出とスケール化

■2026年4月、事前防災推進室を新設→火災から災害全般へ事業領域を拡大

- 防災啓発コンテンツや新たなソリューションの企画・開発・展開を推進
- 官公庁・地方自治体・大学等の専門機関との連携強化
- 社会課題の解決を通じ、新たな成長領域の創出に取り組む

■未来共創プロジェクト等から生まれたサービスの事業化・スケール化を推進



n-hops®

N-HOPS（エヌ-ホップス）

災害時に自治体支援が行き届かない状況でも、住民主体の避難所の開設・運営を実現

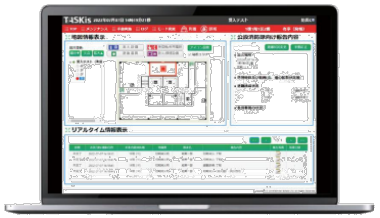
- 2026年5月に本格リリース
- 東京都渋谷区で全国初の運用を開始
- 今後は全国の自治体への展開を推進

Stock & Cycle ストクル＋

ストクル＋（プラス）

賞味期限を迎えた備蓄品を廃棄せずに寄付したいと考える企業と、食料の寄付を受けたいフードバンクをマッチング。

- 2024年5月リリース後、受注拡大中
- 環境省・消費者庁主催の食品ロス削減推進表彰において審査委員会委員長賞を受賞



能美・防災支援システム

TASKis®

Task Information System

火災から設備故障までトラブル対応を一元管理、非常時の初動対応を迅速化するクラウドサービス

- 専任営業体制を強化
- 全国展開を推進
- 既存事業との相乗効果が拡大
  （例：部分受注から施設全体受注への広がり）

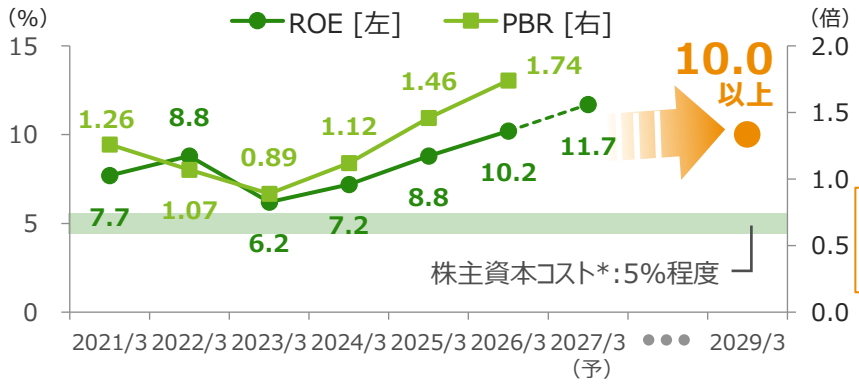
©2026 NOHMI BOSAI LTD.

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

中長期的な企業価値のさらなる向上のため、
資本コストや株価を意識した経営を一層推進
（株主資本コストは少なくとも５％程度＊と認識）
＊CAPM、株式益利回りより推計

2028年度までに
ROE 10.0%以上
とすることを目指す

●収益性の向上
●株主還元の強化
⇒ 資本効率の向上



株主資本コスト
引き下げ
⇒PBR上昇

中長期ビジョン2028の遂行

具体的な取組み

1）収益性の向上

重点施策 **成長に向けた投資**

- 基盤整備 ⇒ 原価低減の実現
- 人的資本投資 ⇒ 競争力の向上
- M&Aの活用 ⇒ 事業領域の拡大

2）株主還元の強化

配当性向目標を50%に設定

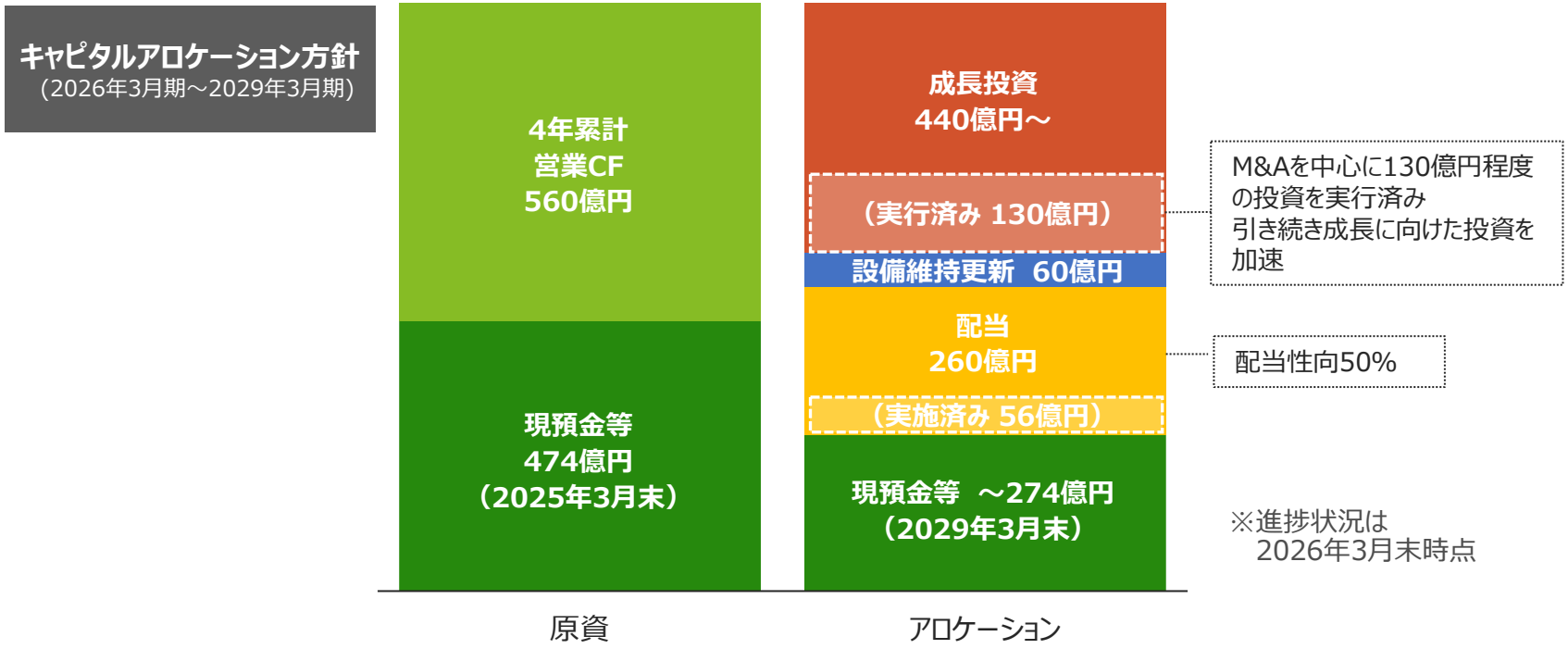
3）IR活動の充実

継続的な株主・投資家との対話
開示情報の質、量改善 等

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

ステージⅢにおけるキャピタルアロケーション方針

- **人的資本**や**M&A**への**積極的な成長投資**を通じて、持続的な成長を実現
- 追加の成長投資には、必要に応じて**借入金も活用**
- **配当性向50%**を目標として設定（投資等の状況に鑑み、引き上げについて適宜検討）



©2026 NOHMI BOSAI LTD.

ステージⅢ期間から、連結配当性向の目標水準を50%に設定

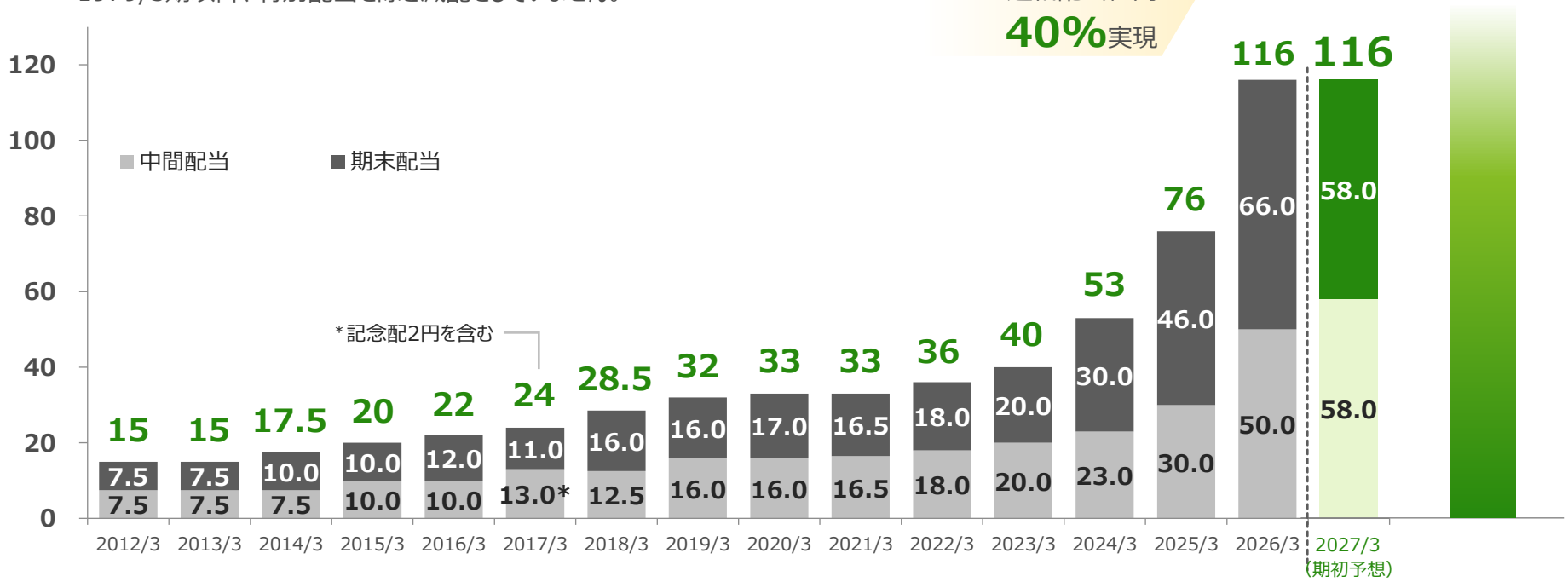
➡ 2026/3期の実績は50.0%で目標達成

1株あたり配当金の推移 （単位：円）

＊1979/3期以降、特別配当を除き減配をしていません。

ステージⅡ期間（2023/3～2025/3）
2025/3期までに連結配当性向 **40%**実現

2026/3期以降 **50%**へ



配当性向	50.6%	31.4%	21.9%	21.4%	20.0%	20.8%	18.8%	24.7%	18.9%	26.1%	23.2%	34.4%	37.3%	40.5%	50.0%	**51.3%**

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

マテリアリティと中長期ビジョンの関係

マテリアリティ	中長期ビジョンステージⅢにおける活動の方向性	貢献するSDGs
1 **あらゆる災害から生命・財産を守るためのソリューションの提供** 「火災被害ゼロの社会」の実現に向けた防災システム、サービス提供体制の強化とともに、災害全般への事業領域拡大、デジタル技術の活用等に取り組んでいきます。	災害全般領域への社会課題解決に向けた未来共創プロジェクトの活動継続に加え、火災被害ゼロの社会実現に向けマーケティング機能を強化して推進していく。	
2 **自律と挑戦を重んじた人財育成と多様性の確保** 社員が成長実感を得られる企業風土の醸成、ダイバーシティ＆インクルージョンの推進、働きがいを感じる職場の実現等に取り組んでいきます。	誰もが働きがいを持ち、働きやすい職場環境を構築し、事業戦略の実現に向けた必要な人財の獲得と一人当たりの生産性向上を推進。具体的には、多様な能力・価値観を持つ人財の活躍・成長する機会を創出し、女性社員上級職 30名以上、障がい者法定雇用率以上を目標に取り組んでいく。	
3 **カーボンニュートラル実現をはじめとする地球環境保全への取組み** カーボンニュートラル実現に向けて取り組むとともに、製品・サービスによる環境への貢献、化学物質規制への積極的な対応等に取り組んでいきます。	中期削減目標である2030年度までに温室効果ガス排出量を2018年度比で45%削減することを目標として、さらに項目を分解したKPIを設定して推進。具体的には、電気、ガス、燃料（ガソリン・重油・軽油・灯油）、紙等の使用量を削減、また、森林を増やす植林活動を行う団体への協賛等や、気候変動が事業に与えるリスクの低減および機会の創出に向けた対策を引き続き推進していく。	
4 **安全・安心を担う企業にふさわしい経営の実践** 強固なサプライチェーンの実現、人権に配慮した企業経営の実践、災害に対するレジリエンス（BCP）の強化等に取り組んでいきます。	① コンプライアンスの徹底 ② 部品調達を強化し、生産体制の安定と納期遵守を徹底。DXで業務効率化を進め、人財確保・育成を推進。サプライヤーと連携し、技術力と生産効率を高め、サプライチェーンを強化する。 ③ 人権デュー・ディリジェンスの実施を推進する。 ④ 全国事業所における南海トラフを想定した更なるレジリエンス強化策を検討していく。	

➢資格不正取得に関する再発防止策の進捗状況報告（2026年9月25日公表）
➢「能美防災人権方針」の策定および人権デュー・ディリジェンスの実施について（2026年3月31日公表）

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

トピックス　：サステナビリティへの取り組み

PFAS不使用の特定駐車場用泡消火設備「グリーンスコール」を販売開始

特徴

長年培った泡消火技術を活用し、PFAS*を使用しない泡消火薬剤を採用しながら、高い消火性能と環境配慮を両立した特定駐車場用泡消火設備を開発・販売開始

*PFAS：有機フッ素化合物（ペルフルオロアルキル化合物またはポリフルオロアルキル化合物）の総称で、自然界では分解しないため、人体などへの悪影響が懸念されている物質

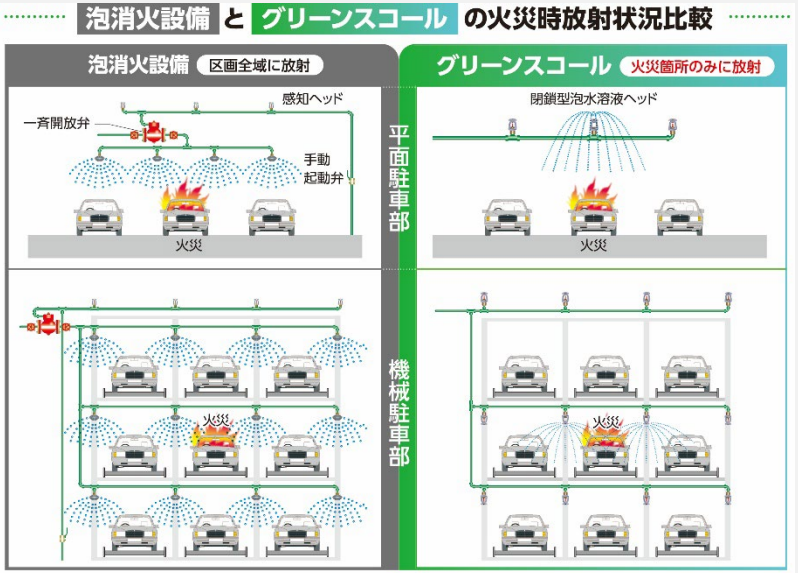
PFAS-Free

社会的背景

・PFAS規制強化
・環境負荷低減ニーズの拡大

事業機会

・新築物件の獲得
・既存設備の更新需要の取り込み



©2026 NOHMI BOSAI LTD.

期待の先をカタチに

transformation

3. 2027年3月期 連結業績予想

2027年3月期 連結業績予想

（百万円）

	2026/3	2027/3	前期比	
	実績	予想(10/29開示)	増減額	増減率
売上高	139,657	**164,300**	+24,642	+17.6%
売上総利益	52,318	**61,700**	+9,381	+17.9%
(利益率)	(37.5%)	**(37.6%)**	(+0.1pt)	—
販管費	33,968	**39,200**	+5,231	+15.4%
営業利益	18,349	**22,500**	+4,150	+22.6%
(利益率)	(13.1%)	**(13.7%)**	(+0.6pt)	—
経常利益	19,361	**23,700**	+4,338	+22.4%
親会社株主に帰属する **当期純利益**	13,648	**16,700**	+3,051	+22.4%
EPS（円）	231.88	**283.69**		
ROE	10.2%	**11.7%**		
受注高	161,165	**163,000**	+1,834	+1.1%
受注残高	91,474	**90,174**	△1,300	△1.4%

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

堅調な市場環境を想定、受注高は高水準を見込む

外部環境に注視が必要だが、市場環境は引き続き堅調に推移すると想定
施工能力等の制約を考慮するも、受注高は過去最高の前期を上回る見込み

過去最高の売上高・営業利益計画を上方修正

第2四半期までの堅調な業績推移を背景に通期予想を上方修正（10/29開示）
高水準の受注残高を背景に、初の売上高1,600億円超、営業利益200億円超を予想

2028年度の中計目標達成に向けて重点施策を推進

中長期ビジョン2028で掲げているM&AやDXなどの重点施策を推進し、
継続的に高水準の営業利益率やROEの維持・向上を目指す

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

セグメント別売上高・利益予想

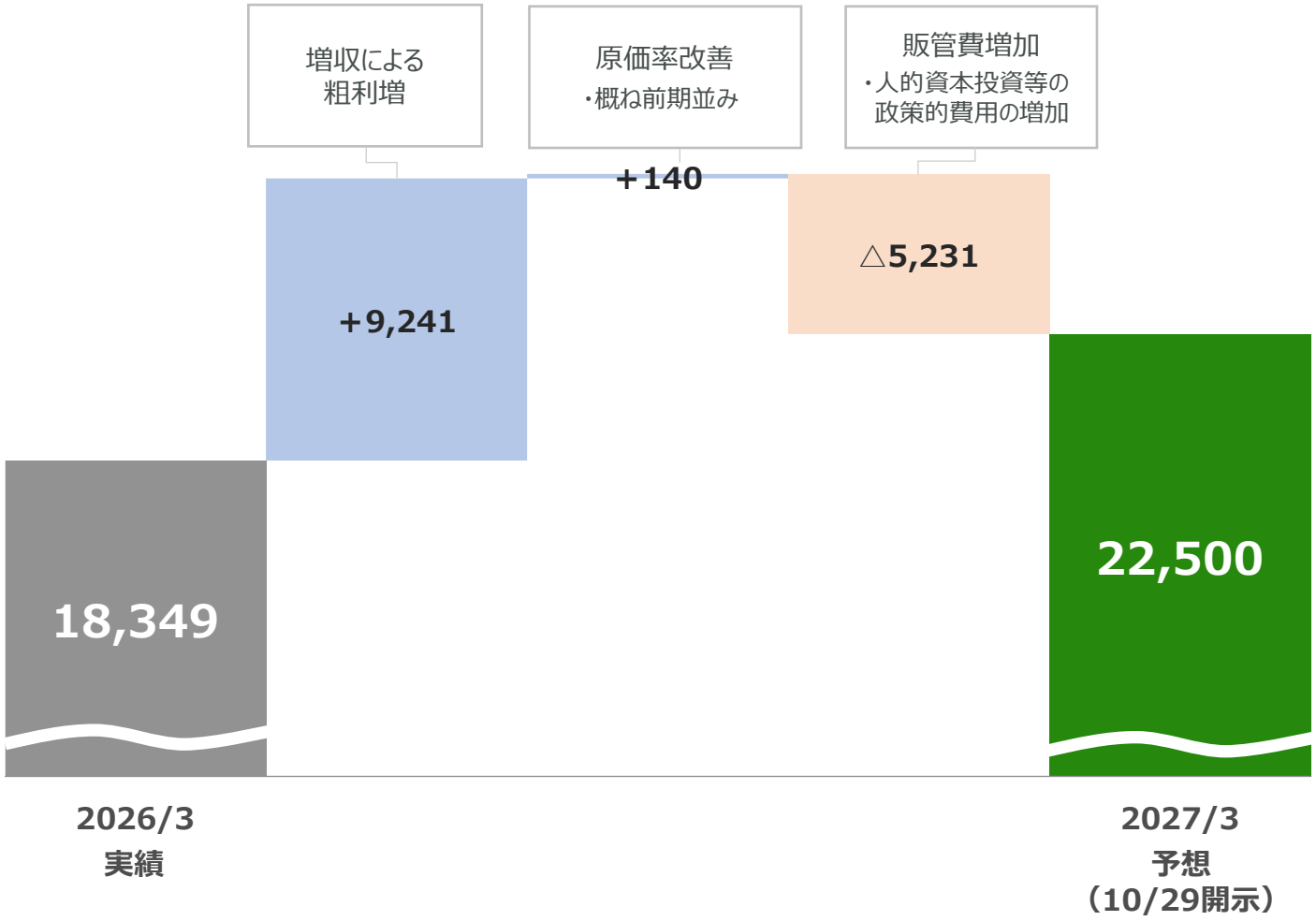
（百万円）

		2026/3	2027/3	前期比	
		実績	予想(10/29開示)	増減額	増減率
火災報知設備	売上高	51,143	**52,925**	+1,782	+3.5%
	セグメント利益	9,958	**9,420**	△538	△5.4%
	(利益率)	(19.5%)	(17.8%)	(△1.7pt)	—
消火設備	売上高	46,949	**53,276**	+6,326	+13.5%
	セグメント利益	10,842	**14,973**	+4,131	+38.1%
	(利益率)	(23.1%)	(28.1%)	(+5.0pt)	—
保守点検等	売上高	36,734	**42,200**	+5,465	+14.9%
	セグメント利益	7,979	**9,043**	+1,063	+13.3%
	(利益率)	(21.7%)	(21.4%)	(△0.3pt)	—
その他	売上高	5,241	**16,308**	+11,067	+211.2%
	セグメント利益	473	**1,103**	+629	+132.9%
	(利益率)	(9.0%)	(6.8%)	(△2.2pt)	—
消去または全社	売上高	△411	△411	—	—
	セグメント利益	△10,905	△12,040	△1,135	—
連結	売上高	139,657	**164,300**	+24,642	+17.6%
	営業利益	18,349	**22,500**	+4,150	+22.6%

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

営業利益予想増減分析

（百万円）

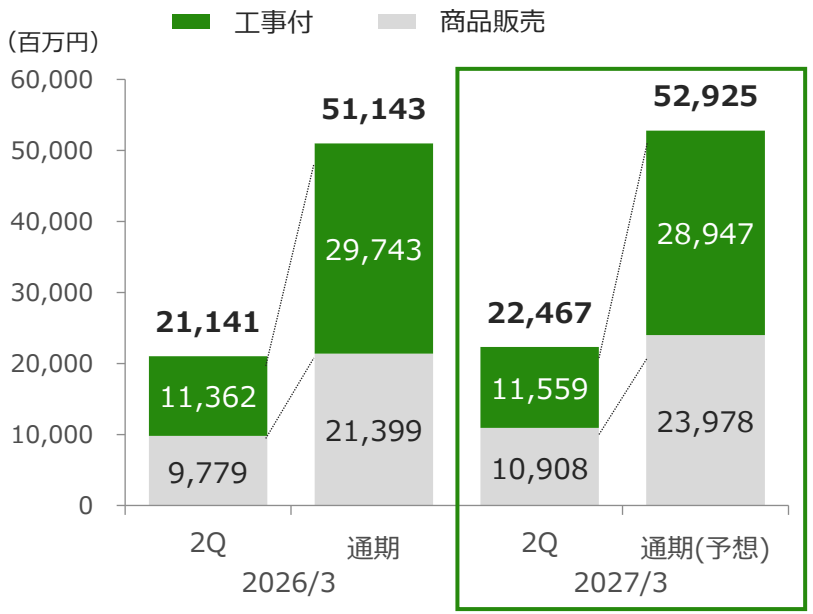


©2026 NOHMI BOSAI LTD.

セグメント別売上高予想①

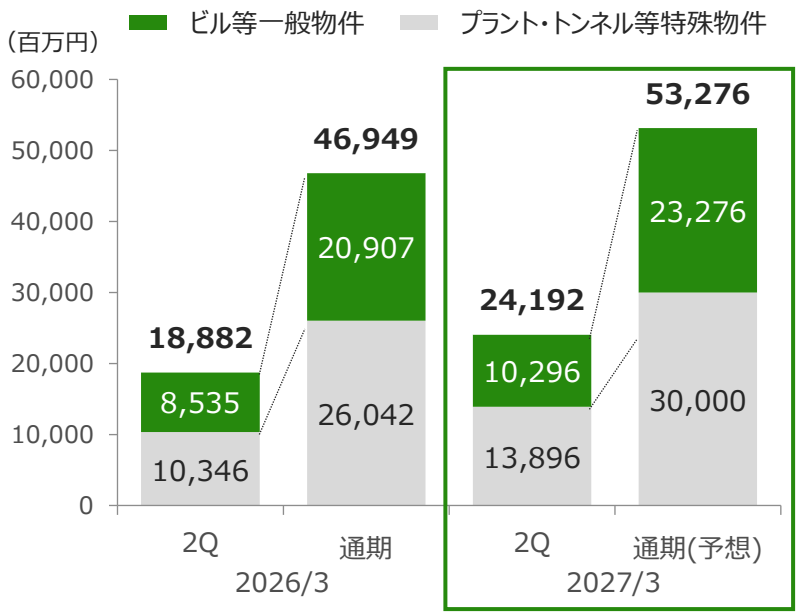
火災報知設備 | 消火設備 | 保守点検等

火災報知設備



- 堅調な市場環境が続いていることを背景に、商品販売を中心として売上高を伸ばし、過去最高の更新を目指す。

消火設備

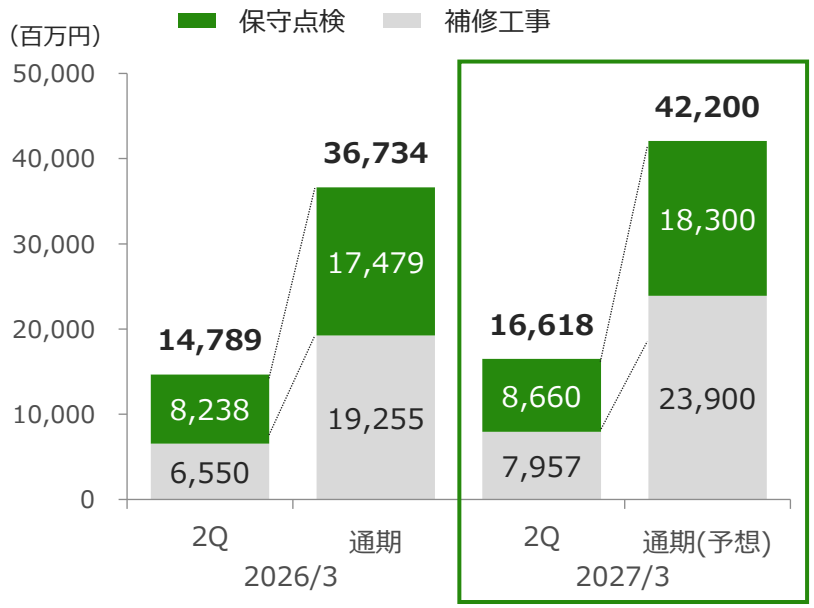


- 豊富な受注残高を背景に、セグメント全体で過去最高の売上高の更新を見込む。

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

セグメント別売上高予想②

保守点検等



- 堅調な需要から保守点検および補修工事ともに引き続き安定した売上成長を見込む。

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

期待の先をカタチに

transformation

4. 参考資料

防災システムを一貫体制で提供する総合防災企業

商号	能美防災株式会社
本店所在地	東京都千代田区九段南四丁目７番３号
設立	1944 [昭和19]年 5月 5日　※創立は1916年 [大正5年] 12月
代表者	代表取締役社長　長谷川 雅弘
資本金	13,302百万円　※2026年3月末
従業員数	3,251名＜連結＞　※2026年3月末
事業内容	防災に関する受託実験、企画、提案 各種防災設備、システムの企画、開発、設計、施工、保守 上記機器の設計、製造、販売 駐車場車路管制システムの設計、製造、施工、販売、保守

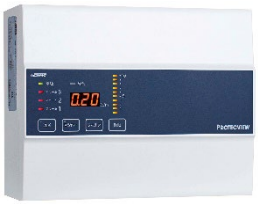
©2026 NOHMI BOSAI LTD.

沿革

創立110周年
- 2026 避難所開設・運営支援アプリ「N-HOPS」をリリース
  PFAS （有機フッ素化合物） 不使用の特定駐車場用泡消火設備「グリーンスコール」を販売開始
- 2025 新型「PROTECVIEW」（超高感度煙監視システム）を販売開始
- 2024 新型のP型自動火災報知システムを販売開始
  PFAS不使用の環境配慮型泡消火薬剤を開発
- 2022 東京証券取引所プライム市場に上場
  三鷹工場を移転新築
- 2021 VRコンテンツ「火災臨場体験VR～混乱のオフィス～」をリリース
- 2019 クラウド型防災支援ソフト「TASKis」を発売
- 2018 中・大規模建物向け防災システム「R-26C」を販売開始
- 2017 妻沼東事業所に、展示施設「能美テクノリウムメヌマ」を開設、メヌマ工場を拡大
- 2014 「リング型表示灯付発信機」がグッドデザイン金賞を受賞
- 2010 三郷市に研究開発センターを開設
- 2009 超高感度煙監視システム「PROTECVIEW」を販売開始
- 2006 セコム株式会社を引受先とする第三者割当増資を実施
- 2004 住宅用火災警報器「まもるくん10」を販売開始
- 2002 自動試験機能付P型自動火災報知システム「進P」を販売開始
- 1995 中国に合弁会社 「北京能美西科姆消防設備有限公司」（現 上海能美消防設備有限公司）を設立
- 1991 東京証券取引所市場第一部に指定替え
- 1987 青函トンネルに防災設備、瀬戸大橋に消火設備を設置
- 1974 LNG基地防災システムを開発
- 1968 霞が関ビルディングに防災設備を設置 <超高層ビルとして国内初>

株式上場
- 1962 名神高速道路の梶原・天王山トンネルに防災設備を設置
  <高速道路トンネルとして国内初>
  東京証券取引所市場第二部に上場
- 1936 皇居に火災報知設備を設置
- 1933 三十三間堂に火災報知設備を設置 <国宝として国内初>
- 1924 前年の関東大震災を契機に自動火災報知機による防災事業開始

創立
- 1916 能美輝一、能美商会を創立


<PROTECVIEW>


<メヌマ工場>


<R-26C>


<能美テクノリウムメヌマ>



<リング型表示灯付発信機>


<研究開発センター(三郷)>


<能美輝一>


<宮中奥御殿（皇居）完工記念>

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

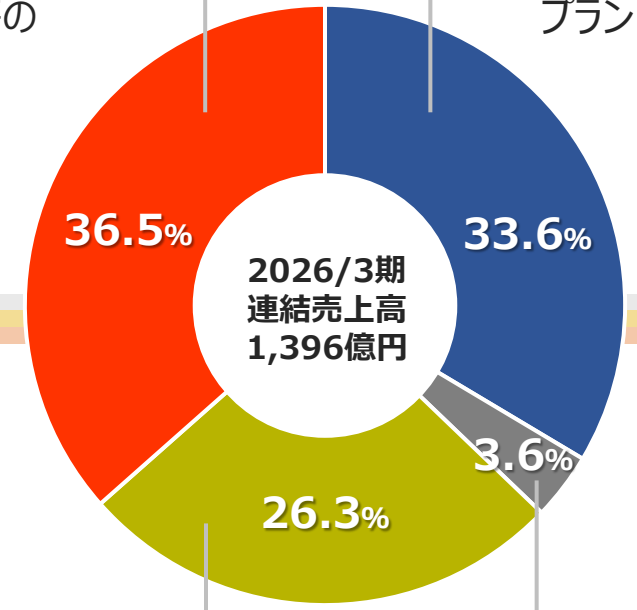
事業領域

火災報知設備

自動火災報知設備、環境監視システム、防火戸、防排煙設備等の製造販売および取付工事

消火設備

各種スプリンクラー設備、泡消火設備、プラント防災設備、トンネル防災設備等の製造販売および取付工事



保守点検等

各種防災設備に係る保守点検および補修業務 等

その他

駐車場車路管制システムの取付工事および保守 等

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

火災報知設備とは



- 火災報知設備とは、万一火災が発生した場合に煙や熱をすばやく感知し、警報を発して建物内にいる人々に火災を知らせるための設備。
- 消防法により、自動火災報知設備の設置基準が定められている。
- 主な設置対象は、オフィスビル、商業施設、マンション、ホテル、物流倉庫など
- 製造した機器を代理店等へ販売する「商品販売」と、機器を販売するだけではなく、当社が取り付けまでを行う「工事付」がある。



<PROTECVIEW>

- データセンターや半導体工場向けに、法律上の義務に加えて自主的に設置する安全対策設備として、火災を予兆レベルでとらえることのできる超高感度煙監視システム「PROTECVIEW」なども販売。

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

消火設備とは



- 消火設備とは、万一火災が発生した場合に、その火災を消火、抑制するための設備。
- 水を用いるスプリンクラー設備、泡消火設備、窒素などを用いるガス消火設備等がある。
- 消防法により、消火設備の設置基準が定められている。
- 消火設備セグメントの売上高は次のように分類している。
  ビル等一般物件　　：オフィスビル、商業施設、マンション等
  プラント・トンネル等特殊物件：プラント・工場、発電所、文化財、道路トンネル等
- 当社は製造した機器を販売するだけではなく、取り付け工事まで行っている。
- プラント・トンネル等特殊物件向けのソリューションは当社の強みのひとつ。

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

保守点検等とは



- 保守点検等セグメントの売上高は、「保守点検」と「補修工事」に区分している。
- 「保守点検」は、自動火災報知設備や消火設備などの消防用設備等に対して、消防法に基づき有資格者が年2回行う点検が主なもの。
- 「補修工事」は、点検契約物件で発生した不具合の修繕や、部品交換、防災設備全般のリニューアル工事など。
- リニューアルは、基本的に法律上の義務ではないため、推奨時期に当社より積極的に提案。
- メーカーとして付加価値の高いサービスを提供し、高い安全性を確保。

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

総合防災力

- 研究・開発 ⇒ 製造 ⇒ 営業・設計 ⇒施工 ⇒メンテナンスまで
  一貫した責任体制でのサービスを全国に提供可能

一貫した責任体制

研究・開発 → 製　造 → 営業・設計 → 施　工 → メンテナンス



- 幅広い品揃えにより、様々な施設、
  防災ニーズに対応が可能



©2026 NOHMI BOSAI LTD.

長い社歴の中で強みが磨かれた５つの要素

1 総合防災に関する開発、設計、施工等の**『技術力』**

2 豊富な実験により蓄積された火災に関する**『ノウハウ』**

3 細かな工程管理や対応等、ハイレベルな**『施工力』**

4 実績とともに築かれた関係各所からの**『信頼』**

5 日本全国に敷かれた充実した**『代理店網』**

※あらゆる火災発生状況を想定したシミュレーション



©2026 NOHMI BOSAI LTD.

連結業績推移

（百万円）

	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3
	実績	実績	実績	実績	予想(10/29開示)
売上高	105,537	118,506	133,696	139,657	**164,300**
売上総利益	34,859	39,473	46,453	52,318	**61,700**
(利益率)	(33.0%)	(33.3%)	(34.7%)	(37.5%)	**(37.6%)**
販管費	25,980	27,810	30,776	33,968	**39,200**
営業利益	8,879	11,662	15,677	18,349	**22,500**
(利益率)	(8.4%)	(9.8%)	(11.7%)	(13.1%)	**(13.7%)**
経常利益	9,420	12,242	16,217	19,361	**23,700**
親会社株主に帰属する当期純利益	7,022	8,574	11,098	13,648	**16,700**
EPS（円）	116.42	142.10	187.86	231.88	**283.69**
ROE	6.2%	7.2%	8.8%	10.2%	**11.7%**
受注高	114,168	123,492	139,640	161,165	**163,000**
受注残高	59,035	64,022	69,966	91,474	**90,174**

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

セグメント別売上高・利益推移

（百万円）

		2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3
		実績	実績	実績	実績	予想(10/29開示)
火災報知設備	売上高	39,760	43,259	48,147	51,143	**52,925**
	セグメント利益	6,509	7,674	8,528	9,958	**9,420**
	(利益率)	(16.4%)	(17.7%)	(17.7%)	(19.5%)	(17.8%)
消火設備	売上高	32,479	38,275	45,232	46,949	**53,276**
	セグメント利益	4,231	5,020	8,352	10,842	**14,973**
	(利益率)	(13.0%)	(13.1%)	(18.5%)	(23.1%)	(28.1%)
保守点検等	売上高	28,518	32,143	34,644	36,734	**42,200**
	セグメント利益	5,807	7,259	8,042	7,979	**9,043**
	(利益率)	(20.4%)	(22.6%)	(23.2%)	(21.7%)	(21.4%)
その他	売上高	5,168	5,309	6,169	5,241	**16,308**
	セグメント利益	283	251	386	473	**1,103**
	(利益率)	(5.5%)	(4.7%)	(6.3%)	(9.0%)	(6.8%)
消去または全社	売上高	△388	△481	△497	△411	△411
	セグメント利益	△7,952	△8,542	△9,633	△10,905	△12,040
連結	売上高	105,537	118,506	133,696	139,657	**164,300**
	営業利益	8,879	11,662	15,677	18,349	**22,500**

©2026 NOHMI BOSAI LTD.

注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、

能美防災およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、

この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、

本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

©2026 NOHMI BOSAI LTD.